2008-09年度
R.1. テーマ

夢をかたちに

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries
R.I.District 2550 (Tochigi.Japan)

ガバナー 羽 石 光 臣

2008-09年度 ガバナーの目標 「子供たちに夢を」その夢をかたちに

「 赤トンボ 」
渡 邉 千 尋（宇都宮上戸祭小）
文星芸大子ども芸術祭・入賞

今月のガバナーズ・コラム
職 業 奉 仕 P2

「ロータリーのピンを付けている人は」

次のようなメッセージを発信しています。
「あなたは私を信頼することが出来ます。私は頼りになります。私は信用に値します。私は受けるよりも多くを与えます。私はいつでもお手伝いします。」
1993-94 RI会長　ロバート R.バース

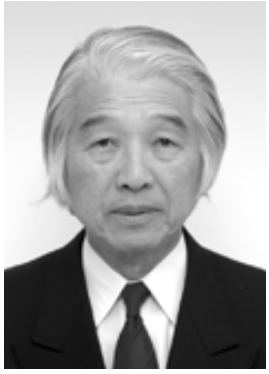
10月のロータリーレート
1米ドル ＝ 106円

目　次

- P2　羽石ガバナーメッセージ
- P3　職業奉仕月間に因んで
- P4　職業奉仕月間に因んで
- P5　米山月間に因んで
- P6　インターアクト・クラブ海外研修報告
- P8　第一回会長・幹事会報告
- P10 公式訪問だより
- P12 ハイライトよねやま 103号
- P14 第 2550地区　新入会員紹介・訃報
- P15 文庫通信、通信欄
- P16 会員増強・出席報告

国際ロータリー第 2550地区　ガバナー事務所
〒 320-0066　栃木県宇都宮市駒生 1-1-6　財団法人　栃木県青年会館　コンセーレ 4階
TEL 028-611-3808　FAX 028-611-3809
http://www.rid2550.jp　　E-mail ： d2550@silk.ocn.ne.jp

04
2008-10



職 業 奉 仕

国際ロータリー第2550地区
2008-2009年度ガバナー
羽 石 光 臣（宇都宮東 RC）

当時のポブ・バース RI会長エレクトは、私たちに次のように語りかけました。「ロータリーのピンを付けている人は、次のようなメッセージを発信しているのです。

『あなたは私を信頼することが出来ます。私は頼りになります。私は信用に値します。私は受けるよりも多くを与えます。私はいつでもお手伝いします。』

皆さんが付けているロータリー・ピンに対する世間の信頼は、ロータリーの創立以来、世紀を超えて、私たちの先輩が、血のにじむような努力を重ねてかち得たものであります。 2008年国際協議会で渡辺好政 RI理事は「職業奉仕の重要性について」の講演の冒頭で話されました。

1905年にポール・ハリスが 2つを目的としたクラブを作りました。

第 1条. 友情を深めること。第 2条。商売を発展させること。(物質的互恵関係)

1908年シェルドンが入会して、第 2条の物質的互恵関係から、精神的互恵関係である「職業奉仕理念」へ進化します。更に、第 2条は、四大奉仕の職業奉仕とロータリーの綱領が結びつき、綱領第 2条「事業、職務の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が職業を通じて社会に貢献すること」に結びついて行きます。

事業の継続的な繁栄を願うシェルドンが提唱した「職業奉仕理念」。その理念を「最もよく奉仕するもの　最も多く報いられる」と表現し、フランク・コリンズの「超我の奉仕」と共にロータリーの 2つのモットーです。そして、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することから、奉仕の実践によって、ロータリアンに進化します。日本のロータリアンの多くは、この 2つのモットーを 1枚のコインの裏・表と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で「奉仕の理想」を生かしてゆくことをロータリーが育成、支援する方法であります。ロータリーの哲学の神髄は、職業倫理の向上です。「かつて、ロータリーは倫理的価値を求めて　立ち上がりました。　ロータリーは今、時代と社会状況の求めに応じて　再び立ち上がらざるをえません。　時代は変わっても、誠意の定義は変わることはありません。」
(1991-92　RI会長　ラジャ・エンドラ・サブー)
残念ながら、私たちの多くはロータリーの哲学のこの最も大切な神髄を、忘れてしまっています。(2002-03　RI会長　ビチャイ・ラタクル)

職業奉仕を個人としては、精神面から人生哲学としてとらえて、倫理向上のために、人格向上のために学び、その結果として、ロータリーのピンから発信している　メッセージに値する人間を目指すことは大切な事です。

シェルドンの職業奉仕の考えは、事業の継続発展を目的にした経営学ですから、法人としては、経営哲学として、自らの会社の繁栄のために学ぶことは、我々職業人にとって重要なことです。

奉仕哲学を探究しつつ、永年のロータリー活動を通じて蓄積された膨大な情報こそ、ロータリアンの事業を発展させ、企業経営を健全化に導く貴重な情報とも言えるでしょう。自己の利益のみを目標としたために、巨大企業の不祥事が起こっており、日本でも、食品業界のみならず、各方面での不正が多発しております。自分自身の職業が、他人のための事業であるとの認識に立つとき、ロータリーの職業奉仕の真髄が理解できると思います。歴史的に見ましても、今ほど、職業奉仕の理念を必要としているときはありません。

「ロータリーのマークを付けている人の会社は」
あなたは私の会社を信頼することが出来ます
私の会社は頼りになります
私の会社は信用に値します
私の会社は受けるよりも多くを与えます。
私の会社はいつでもお手伝いします。
この様な会社を目指すべきです。
ロータリーの原点は、会員お互いの家族ぐるみの親睦を基盤として、地域社会から尊敬される、真っ当な商売をする職業倫理を磨く人生の道場です。

職業奉仕月間に因んで

職業奉仕委員長
瀬 下 龍 夫（壬生 RC）

四つのテストで職業行奉仕を常時実践

職業奉仕は奉仕の理念に基づき己の職業を通じて人のために、世のために尽くすことでしょう。職業に従事しているのは 10月だけではありません。月間を設けると、確かにその月の当該行事には力を入れますが、月が替わると他の行事に関心が移り、過ぎたことやそれからのことなどは、ともすればおろそかにしがちです。寄付のウエイトが大きな奉仕や年中活動をしてない奉仕では、月間運動の効果も大きいですが、ロータリー活動の根幹である職業奉仕は 365日するものです。 12ケ月すべて職業奉仕月間と考えたいです。

顧客は、あなたの商品であれ、サービスであれ、それを何時利用しているか、あなたには分かりません。お客様とこのように絶えず繋がっているのです。あなたが職場に立っていなくとも、お客様を、彼らのニーズを忘れないでください。

顧客から代金を頂いているのですから、彼等に満足していただくよう努力する。

最もよく奉仕する者は、最も多く報われるのです。

奉仕の意味を出血サービスなどのように自分を犠牲にする行為と考えるから、このモットーがよく理解できないのです。

ロータリーでは「利己と利他の調和」を調和させる心構えを「Service」と定義したのです。“適切な”利益を頂き、顧客が支払った対価以上の満足を彼らに提供すれば、必ず常連になります。利己と利他をバランスさせるのです。

従業員をも同じです。適切、かつ、公正に待遇してください。彼等が望んでいることをできるだけかなえてあげてください。十分遇されていると感じれば、気持ちよく働くものです。職業奉仕は彼らを通じても実践されるからです。奉仕のよさを実感させず職業奉仕はできません。

職業奉仕月間に、職場訪問をしたからといって職業奉仕をしたことにはなりません。訪問先で得た職業奉仕事例を見習い、自分の仕事で活かしてこそ職業奉仕なのです。卓話を聴いても、それを活用しなければ職業奉仕にはなりません。

クラブとして行なう職業奉仕はありません。ただクラブでは、どうすれば効果的に職業奉仕ができるかお互いに伝授すべき場所ではありますが。

世の中には法の抜け穴を探す人もいます。順法精神だけでは不十分です。倫理にもとることはすべきではありません。ロータリアンには倫理以上のことが求められています。誘惑や圧力に屈せず正しいことをする思慮分別が大切なのです。

常に四つのテストに照らして行動すればよいのです。

いずれこの世を去るのです。天国で貴方が職業人として、どのように評価して貰いたいのかを考え、そのように職業活動をすることです。

職業奉仕月間に因んで

国際ロータリー元理事
板 橋 敏 雄（足利東 RO

なんと言っても職業奉仕はロータリーの真髄です。
ポール・ハリスはこう言いました。1900年代初頭シカゴの町はアメリカ経済の坩堝でした。ロータリーの様な団体を作るには、シカゴの様な殺伐とした町がもっとも相応しいのではないかと。当時のシカゴは、発展のエネルギーは抜群でしたが、その遣り方が百鬼夜行といった状態でした。商工会議所も同業組合も無く同業者は全て敵だと言った感じでした。そこで一業種一人の会員制のクラブを考え、会員の皆が仲良く繁栄できるようにしたのです。基本はそこにありましたが、やがて地域社会のために役立つクラブへと進化して行ったのです。お互いの職業を立派なものにして、押しも押されもしない職業人になろうと努めてきたのです。
人は誰でも個人の幸せを願います。しかし自分の幸せが他人の幸せを傷つけるのではないかという人間としての配慮、これは人間としての哲学です。
ここ100年ものつくりで世界の経済のリーダーダーとなった米国は、1980年代からインターネットの発達による世界同時情報化から、その会社がいかなる発想で社会に尽くすのかと言うことを問う前に、金融工学の波に乗って、世界中が過度の利潤追求に走りすぎている昨今となりました。どの様な製品を作り、又どの様なサービスを提供するかを真剣に考え、社会をすみ易いものにするための努力が、どの様な発展した社会にあってもロータリーの職業奉仕ではないでしょうか。
若くして入会する人が、増えています。新しい時代の職業を担う人と共に、過度の一時的な利潤の追求ではなくて、世界社会が少しずつ幸せになって行くような職業奉仕に汗をかこうではありませんか。

米山月間にちなんで

米山記念奨学会委員長
池嶋英哲（西那須野 RC）

米山奨学生を終了すると学友となります。今年 6月末時点で 32人の学友からの寄付が合計 10,769,230円となり一千万円を超えました。そのうち 12人は、国内外でロータリアンになっています。また毎月一万円の寄付を続けている田鎬鎮さんや、 2年続けて中国から 50万円ずつ寄付してくれる学友もいます。そして今年、 6年ぶりに台湾の米山学友会が米山梅吉翁の墓参ツアーを企画、阮允恭理事長や許国文 PGを始め、学友 16人とその家族、合わせて 22人が来日しました。 7月 10日、静岡県三島市の米山梅吉記念館を訪問し、梅吉翁のお墓にお参りした後、記念館の展示室を見学し、セミナールームで和気あいあいの懇談をし、その席上、岩手・宮城内陸地震へのお見舞いとして義援金 25万円が板橋理事長に託されました。台湾学友会からの義援金は新潟中越、新潟中越沖に続いて今回で 3回目となります。今回の義援金は第 2520地区に寄付され被災地の支援に充てられます。そのような学友の意志に報いるには、寄付の増進を計り、一名でも多くの留学生を奨学することだと思います。

米山記念奨学会委員会だけのことではないのかも知れませんが、近年地区協議会や、クラブ委員長会議などに出席されない方があまりにも多いような気がします。出欠の報告をお願いしましても連絡が無く、山積みのお弁当が空しく感じられることもたびたびです。そんな状況にありながら、当 2550地区では、 2007～ 2008年度寄付の結果も例年通り全国でも上位を達成できました。しかし、寄付の結果がよかったからと安心していますと、(財)ロータリー米山記念奨学会の本来の目的も分からなくなり、「ただ寄付を取られている」と思われるだけになりかねません。米山の想いは受け継いでいかなければならないものと思います。米山の寄付金の種類は、ご存知のように、普通寄付と、特別寄付の 2種類があります。普通寄付は、日本の全ロータリークラブ会員から各クラブで決められた金額でご寄付をお願いしています。普通寄付は「寄付行為」施行細則の第 2条、普通寄付に定められており、毎年 1月 1日および 7月 1日に、各半年度分を遅滞なく受領するものとされております。奨学金の安定財源にもなっており、必ずしなければならないものです。ロータリーの送金カレンダーにも載っていて、会費の中から予算化して支払うものです。にもかかわらず、 2007～ 2008年度は全国で未納のクラブが 5クラブありました。第 2520地区で 4クラブ、第 2660地区で 1クラブです。納めなければならないものを納めなくとも何の支障もなくすんでしまうことに、今のロータリーの衰退の一端を見る思いがします。第 2520地区は、今回地震の義援金を学友から送られている地区です。学友の心に応える大きな宿題が残されたのではと思います。

当地区も人ごとではなく、普通寄付は完納でしたが、特別寄付 0が 1クラブありました。特別寄付はあくまでも任意ですが、ロータリアンならできる限りの協力はすべきと思います。年度末には両方とも完納という残された宿題解決のため皆様方のご協力をお願いします。

インターアクト・クラブ 2度目のタイ・バンコク研修報告（その 2）

インターアクト委員
関 口 文 雄（葛生 RC）

2008～ 2009年度　国際ロータリー第 2550地区　第 12回インターアクト年次大会が 8月 7日（木）会場　佐野市葛生東青藍泰斗高等学校　ホストクラブ青藍泰斗高等学校インターアクトクラブ（会長呂比須初江・幹事高島枝里香・部員 24名）スポンサークラブ葛生ロータリークラブ（会長中田秀昭・幹事奥沢松利・会員 35名）参加インターアクトクラブ　11クラブ参加者数 99名　顧問 28名　提唱ロータリー 32名　総勢 212名にて盛大に年次大会が行われました。大会テーマは『つながり』です。

目的　私たちは、自分たちの利益や権利にばかりとらわれるあまり、全体を見失うことがたくさんあります。人はみな、何かの『つながり』の中で生きていることさえ、忘れがちです。自分がどんな『つながり』の中で生きているのかをまずは知らなければ始まりません。本日の大会が、知るための一つのきっかけになることを願ってます。

午前 9：30受付・登録開始し 10：00開会式が会長の点鐘の下厳粛に行われ式典が始まりました。会長の歓迎の辞ではサワディカーの言葉から始まりタイ語でこんにちはという意味だそうです。（7月 26日からのインターアクト海外研修で覚えたそうです。）

続きまして葛生ＲＣ中田会長　の祝辞、学校理事長、校長先生の歓迎の辞がありまして　御来賓ではＲＩ 2550地区羽石ガバナーよりご祝辞をいただき、その後学校インターアクト紹介・ロータリー紹介が終わり開会式が終了し、研修 1の記念講演講師池田香代子先生の『世界がもし 100人の村だったら　』というテーマで講演がはじまりました。　ベストセラーにもなり、その印税で 100人募金を設立し募金を必要としている世界中の人たちに支援活動を行っています。

今世界には、 63億人の人がいますが、もしもそれを 100人の村に縮めるとどうなるでしょう。 52人が女性で 48人が男性です。 30人が子どもで 70人が大人です。そのうち 7人がお年寄りです。 90人が異性愛者で 10人が同性愛者です。 70人が有色人種で 30人が白人です。いろんな人がいるこの村ではあなたとは違う人を理解すること、相手をあるがままに受け入れること、そしてなにより、そういうことを知ることがとても大切です。今世界では貧富の拡大、温暖化などの問題が山

積みです。石油の枯渇が近づき、表土と森が失われ水と食料が、病院と学校が不足しています。人の生活が、太陽と地球からの恵みを超えそうです。『戦争なんかしている場合ではありません。』独り占めではなく、分かち合って共に生きなくては。今生きている。それだけで奇跡的なことなのです。

会場の生徒たちも非常に興味深く真剣に聞いていたようで最後の質問では、私たちも小さな事からでもなにかをやっていきたいと心強い意見がでていました。

研修 2ではタイ研修報告（青藍泰斗高等学校ＩＡＣ会長比呂須初江さん）足尾植樹参加報告（作新高等学校ＩＡＣ会長駒場美幸さん）の報告が終わり、インターアクト全員のエンカウンターがいくつかのテーブルにわかれ行われました。最後に各テーブルの代表者が発表をしました。その多くの意見が学校の活動だけではなく他校との共同での活動がもっとやりたい。という意見でした。最後に岡川ローターアクト委員長に講評をいただき、活気あふれる年次大会が閉会いたしました。

第一回　会長・幹事会報告

地区幹事
福 田 治 雄（宇都宮東 RC）

羽石ガバナー年度　第一回会長・幹事会が 8 月 31日（日）、宇都宮東ＲＣをホストとして栃木県教育会館及び栃木県青年会館において開催されました。

県内各クラブ会長、幹事、ガバナー補佐、地区役員等 140名が参加し盛会裡に行われ且つ有意義な研修会でした。別紙プログラムにより進行、羽石ガバナーのご挨拶、地区幹事の地区概況報告、地区会計長の地区会計概況報告、次に近藤直前ガバナーより 2007～ 08年度の小規模クラブ会員増加の表彰が行われました。　その後「国際ロータリーとロータリークラブ」ーロータリークラブの活性化を目指して　ーと題して近藤隆亮直前ガバナーのご講演をいただきました。休憩の後、各委員会の委員長に一人 5分ずつお話をいただき、質疑応答が行われました。また会長・幹事会終了後 17：30より会場を移動してなごやかに懇親会が行われ、宇都宮東Ｒ Cの若度実行副委員長の閉会の言葉で終了いたしました。

第一回　会長・幹事会　プログラム

■平成20年8月31日（日）　■場所：栃木県教育会館5階　小ホール　■ホスト：宇都宮東RC

13：30～14：00	登録受付	司会	尾野崎孝夫
14：00	点鐘	ガバナー	羽石　光臣
	開会の言葉	実行委員長	青木　格次
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	中田　功
14：10	ガバナー挨拶	ガバナー	羽石　光臣
	地区概況報告	地区幹事	福田　治雄
	地区会計概況報告	地区会計長	川村　寿文
	2007-08年度表彰	直前ガバナー	近藤　隆亮
14：30～15：30	「国際ロータリーとロータリークラブ」 ー ロータリークラブの活性化を目指して ー	直前ガバナー	近藤　隆亮
15：30～15：40	休憩		
15：40～	部門別セミナーの報告と質疑		
（一委員会5分）	地区活性委員会	地区委員長	鈴木　宏
	クラブ奉仕委員会	地区委員長	亀田　清
	職業奉仕委員会	地区委員長	瀬下　龍夫
	社会奉仕委員会	地区委員長	塚田　宗雄
	国際奉仕委員会	地区委員長	飯村　慎一
	新世代プロジェクト委員会	地区委員長	川名　悟
	R財団委員会	地区委員長	佐野　正行
	米山記念奨学会	地区委員長	池嶋　英哲
	質疑応答		
	総評	地区研修リーダー	村上　肇
17：20	点鐘	ガバナー	羽石　光臣

【会場移動】 場所：栃木県青年会館（コンセーレ）2階　アイリスホール

	懇親会	進行：地区幹事	福田　治雄
17：30～	乾杯		
	閉会の言葉	実行副委員長	若度　哲久
18：40	終了		

地区概況報告

■ クラブ会員数　2007年　7月1日　50RC　1,901名
　　2008年　7月1日　50RC　1,861名
　　2008年　7月末日　50RC　1,878名

■ ロータリー財団総寄付額（2007年7月～2008年6月）

年次寄付目標	＄231,411.00
実績	＄249,040.61
達成率	107.62%
1人当たり	＄130.66
クラブ目標達成クラブ	33クラブ
地区目標達成クラブ（1人当り＄130－）	28クラブ
使途指定寄付	＄13,268.07
基金寄付	＄16,000.00
総計	＄278,308.68

■ 米山記念奨学会寄付（2007年7月～2008年6月）

過去累計額	1,041,198,361円
普通寄付金	7,132,000円
特別寄付金	33,190,915円
1人当り平均額	20,957円（全国第4位）

■ ローターアクトクラブ　合計3クラブ
　　足利東RAC　（足利東）
　　宇都宮東RAC（宇都宮東）
　　鹿沼RAC　（鹿沼）

■ インターアクトクラブ　合計13クラブ

白鴎大学足利高校	（足利東）	9名
文星芸術大学附属高校	（宇都宮）	5名
宇都宮短大附属高校	（宇都宮西）	22名
足利短大附属高校	（足利）	7名
塩谷高校	（矢板）	30名
國學院大學栃木高校	（栃木）	19名
足利高校	（足利）	21名
栃木工業高校	（栃木西）	59名
青藍泰斗高校	（葛生）	19名
足利工業大学附属高校	（足利東）	10名
黒磯高校	（黒磯）	20名
宇都宮文星女子高校	（宇都宮北）	43名
作新学院高等学校	（宇都宮90）	38名

公式訪問だより

鹿沼中央 ロータリークラブ公式訪問

■ 7月 22日（火曜日）
■ 会場：八百半フードセンター

第 7グループ・ガバナー補佐
三 品 一 男

暦上大暑の今日 22日、鹿沼中央 RCの顔、赤井孝行会長は笑み満面の目元に涙？緊張？の余り、いや炎天下で玉の汗して、羽石光臣ガバナー（随行員＝川村寿文様）を出迎えた。
買い物客で賑わう駐車場より社屋 F3の会議室（懇談会場）にご案内。
例会場は本年度第 4回例会にして第 7グループ（7クラブ）の皮切りにガバナー公式訪問。
既に石原広明 SAAの元、各々が準備にやや緊張気味、無論私（三品）こそ、自クラブにも関わらず硬直寸前。（これからの 6グループが思い遣られる）
G公式訪問の根幹の一つでも在る会長、幹事、との懇第会がはじまった。「効果的な鹿沼中央ロータリークラブとなるための活動計画の指標」（赤井会長提出）に準じ現況、今後の活動計画、クラブ管理運営、特に少人数クラブの運営に付いて羽石 Gに正して頂きました。
又現況報告書に対して全般的に良好と評価されたがスマイル会計処理方のアドバイスを下された。話は進みケーキ付きコーヒーブレイク、その折に隣室の扉がノックされ“故”片柳定夫 PG（1990～ 95）夫人で現在、八百半フードセンター会長の片柳ハツ様がご挨拶に来室され当時を偲びロータリアン談義で談笑、ソフトな雰囲気に肩を丸めて飲んだコーヒーの旨かったこと、午後の例会は食事を挟んで「共に参加しよう」とテーマした、赤井孝行会長挨拶、駒橋幹事他、委員会報告、例会出席 100パーセント表彰、そして徳望の入会式では“三本松きみ子”新会員の胸には「おめでとう」の言葉を添えて羽石光臣 Gより直にバッジが装着、拍手。
場面は G卓話に移り、夏の日差しを遮るブラインドが下り閉ざされた。会場のスクリーンには「2008～ 09＝夢をかたちに」のターゲットがより鮮明に映える。パワーポイント、プロテクターを用いての説明（中略）静かな口調と解りやすい言葉でロータリーを解説、入会して四ヶ月の絵面幹雄会員も了解。
最後に AG三品一男より IMのホストクラブとして IM実行委員会の立ち上げをお願いし、全員笑顔で応えて下さいました。その記念写真です、有難う御座いました。

小山東 ロータリークラブ公式訪問

■ 8月 22日（金曜日）
■ 会場：和田屋新館

第 5グループ・ガバナー補佐
柿 沼 幸 宏

8月 22日（金）酷暑の中公式訪問が 11時から行われ、R.Iの役員でもある羽石光臣ガバナーをおむかえし、大山光小山東ロータリークラブ会長はじめ 5名が参加して懇談会が行われました。羽石ガバナーから、R.I会長の強調事項について、小山東ロータリークラブの活動計画、社会奉仕の進ちょく状況について尋ねられ、またそれについて、ご指導をいただきました。CLP導入や会員減少についても懇談が行われましたが、何よりも有意義だったのは、羽石ガバナーはもとより皆互に胸襟を開いて、現在のロータリーの行方、R.Iの考え方、諸問題、又不満について、忌憚のない意見の交換が行われたことでした。
午後は通常例会、 1時より 2時まで羽石ガバナーの講話をいただきました。その中で、ロータリーの歴史、綱領、特に決議 23-34と四大奉仕について懇切、丁寧なご説明をいただき、会員一同なお一層ロータリーについて理解を深め、無事公式訪問を終了致しました。

栃木
ロータリークラブ公式訪問

■ 9月 10日（水曜日）
■ 会場：栃木グランドホテル

第 6グループ・ガバナー補佐
平 野 正 之

前回と同じくガバナー予定より早く到着、 11時開始予定の会長、幹事会 5分早く開始、白沢会長の挨拶より開会された。
種種問題の提起有り。
1) 地球温暖化の問題に RCも積極的に参加すべきではないか。
2) CO_2マイレージの方法もあるのではないか。
3) 現況報告書に就き注意の指摘有り。年号は統一して使用するように、定款細則が変更になっているので間違えないように。
子供（ 5歳未満）毎日 30,000人死亡、これの救済待ったなし。
クラブ活性化の為己自身の人格を高め、自分の夢を実現化する為にロータリーを勉強しよう
C,L,Pを実行に移しましょう
其のあとパワーポイントにてロータリーについてのレクチャーを行う。
現在世界に 32,800のクラブがある
子供を救い、食糧の自給を促進するには、 100の病院より 1本の水路
識字率の向上により（特に女性に必要）、人口の増加を防げる。
常に思いやりの心を持って他人の役に立つ。
例会に出席
会費の支払い
ロータリーの友を読む
ロータリアンたるもの、徒に慈善事業に費やすなかれ、人間に如何に育てるかに力を注げ。
等々のレクチャー有り。

ロータリーの情報はインターネットホームページを見るように。

その後簡単な協議会を開催。活発なる意見の交換の下無事終了。お疲れ様でした。

小 山
ロータリークラブ公式訪問

■ 9月 4日（木曜日）
■ 会場：小山グランドホテル

第 5グループ・ガバナー補佐
柿 沼 幸 宏

まだ残暑がきびしい 9月 4日小山グランドホテルに RI役員である羽石光臣ガバナーをお迎えして、田川宗定小山ロータリークラブ会長はじめ 6名が出席して、 11時から懇談会が行われました。
先ず田川会長から今年度の方針が縷々述べられ、特に会員の企業の PR、それには、プログラムに会員卓話を可能な限り多く取り入れ、会員が声を出して、又各個人の職業を通じて、会員相互の継りを密にし、よって親睦を深め、自分の仕事を通じて奉仕するという高邁な方針を述べられ、流石約 50年の歴史あるクラブと敬服致しました。移動例会も多く取り入れ、炉辺会合的に相互の親睦をはかるとのことでした。羽石ガバナーも同調され、いくつかの例をお示しになり、大いに結構とのことでした。
また、「ロータリーとは何ぞや」という本質的な話も出ました。懇談会も終わり、通常総会の後、午後 1時から 2時まで羽石ガバナーの講話があり、特に決議 23-34、四大奉仕の解説をいただき、その R.I.での攻防の話に会員一同納得し、「ロータリーとは何ぞや」がわかったと感謝しつつ無事公式訪問を終了致しました。

（財）ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま 103号★ 2008年 9月 12日発行

今月のトピックス

1. 寄付金速報 ― 10月の米山月間に向けて ―
2. 理事会・評議員会報告
3. 今年の米山月間はこれで決まり！ ～新しい事業紹介ビデオ完成
4. 訃報 米山記念奨学会理事 相澤 隆一氏（第 2540地区）逝去

【お知らせ】まもなく、全クラブへ米山月間資料が届きます

1 寄付金速報 ― 10月の米山月間に向けて ―

8月までの寄付金は、前年同期と比べて 2.2%増、約 660万円の増加となりました。普通寄付金が 1.6%減、特別寄付金が 9.5%増と今月は特別寄付金の納入が良好です。

10月の米山月間をひかえ、事務局では様々は資料をご用意しています。卓話やセミナーなどで使用する寄付金データの希望がございましたら、ご用命ください。なお、 2008年度版『豆辞典』、『クラブ米山記念奨学委員長の手引き』などにも、寄付に関する資料が含まれています。月間用資料としてお送りしますので、併せてご活用くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会報告

2008年 8月 28日に 2008年度第 1回評議員会、翌 29日に同理事会が、それぞれメルパルク東京にて開催されました。今回は、 6年ぶりとなった新しい事業紹介ビデオ（ＤＶＤ）の完成披露として、両会議開始前に初上映されました。

【評議員会】 2008年 8月 28日（木）

全国から 38名の評議員と、常務理事会メンバー及び監事の 10名が出席。議長には、互選によって崎山征雄評議員（第 2790地区ガバナー）が選出されました。

主な議案は 2007年度事業報告、収支決算および 2008年度収支予算一部修正の件です。それぞれ原案通り承認されました。質疑応答では、陰徳を重んじるのではなく奨学事業のすばらしさを広く周知することの必要性や、奨学生の氏名の読み方の統一について、また、指定大学からの推薦の問題点について、意見が出されました。

評議員会終了後、奨学事業をより理解いただくために「使命・奨学金はどのようにして決まったのか」をテーマに坂下事務局長から説明がありました。その後の意見交換では、奨学生との連絡を絶やさないこと、大学推薦制度の功罪、広報につながる全地区へのバナーの貸し出し、寄付に対するお礼の重要性など、活発な意見が出されました。

【理事会】 2008年 8月 29日（金）

理事 25名と監事 3名が出席し、議長の板橋敏雄理事長進行のもと、評議員会で承認された 2007年度事業報告、収支決算および 2008年度収支予算一部修正について、それぞれ原案通り承認されました。質疑応答では、賠償責任保険の補償範囲について説明が求められ、詳細についてガバナー・役員へ通知することとなりました。

理事会終了後、坂下事務局長より「現地採用ロータリー米山記念奨学金制度」第 1期試行における 6名の採用計画や進捗状況、および、今年 12月に施行される「新公益法人制度」の概要説明と、それを受けて当会がどの段階で新公益法人へ移

行するかなど、パワーポイントを使った説明がありました。その後の意見交換では、移行に向けて議論を早急に始める必要があること、また、移行までに何をするべきか等の意見が出されました。

3 今年の米山月間はこれで決まり！
～新しい事業紹介ビデオ完成

毎年、米山月間が近づくと増えるご要望の声にお応えして、6年ぶりに新しい事業紹介ビデオ（ＤＶＤ）を発行しました。米山記念奨学事業ならではの魅力「世話クラブ・カウンセラー制度」にスポットを当て、奨学生とロータリアンとの交流の姿をドキュメンタリーで追いかけます。また、ロータリーとの交流で得たものが、その後の人生にどのように生かされているか、学友のインタビューも収録。もちろん、事業の沿革や概要も網羅しており、米山記念奨学事業の全体像をつかんでいただくのに最適です。

10月の米山月間プログラムにご利用いただけるよう、米山月間資料の一つとして、ＤＶＤを全クラブにお送りします。クラブでのご利用のほか、地区の米山関連のセミナーや大学説明会、新規奨学生オリエンテーションなどにもぜひお使いください。

（ＤＶＤがご利用できないクラブのために、ＶＨＳもご用意しております。米山記念奨学会事務局までご用命ください。）

4 訃報 米山記念奨学会理事

相澤 隆一氏（第 2540地区）逝去

国際ロータリー第 2540地区の（財）ロータリー米山記念奨学会理事、相澤 隆一氏が、9月 5日にご逝去されました。享年 81歳でした。相澤氏は、2001-02年度の同地区パストガバナーで、2004年 8月から当会理事となられ、任期は 2009年 8月までの予定でした。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

【お知らせ】
まもなく、全クラブへ米山月間資料が届きます

今年も下記の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月 20日発送完了）。理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

1. 2008-09年度版 米山記念奨学事業・豆辞典
全会員数分＋クラブ事務局用 1部
（プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へメールでお送りしますが、ご要望があればお気軽にお問い合せください）
2 新ＤＶＤ 1枚
3 2008-09年度版 クラブ米山奨学委員長の手引き
（寄付金マニュアル付） 1冊
4 2007年度事業報告書 1冊
5 2007年度事業報告書 統計・資料編 1冊
6 2007年度 決算報告 2部

【 財団法人ロータリー米山記念奨学会 】
事務局長 ／ 坂下博康
編集担当 ／ 野津・峯・大庭
■ TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
■ 問い合わせメール：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
■ 米山記念奨学会ホームページ：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

第2550地区 新入会員

藤本隆彦（ふじもと たかひこ）

（黒磯 RC）

株式会社 栃木銀行黒磯支店 支店長

入会年月日 平成 20年 7月 16日

ひとことば 山にあってもおごらず、谷にあってもくじけず。

三本松キミ子（さんぼんまつ きみこ）

（鹿沼中央 RC）

パブリックハウス六本木 店主

入会年月日 平成 20年 7月 22日

ひとことば 例会に出席する事を目標に頑張りたいと思います。

佐野智之（さの ともゆき）

（那須 RC）

ホテルエピナール那須 総支配人

入会年月日 平成 20年 7月 24日

ひとことば ロータリークラブの活動を早く理解し、貢献できる様努力致します。

大島勉（おおしま つとむ）

（宇都宮 RC）

日本放送協会 宇都宮放送局 局長

入会年月日 平成 20年 7月 31日

小島行雄（こじま ゆきお）

（真岡 RC）

（社）栃木県臨床衛生検査技師会 理事

入会年月日 平成 20年 8月 1日

明本真吾（あけもと しんご）

（宇都宮陽北 RC）

真和建設（株）宇都宮営業所 代表取締役

入会年月日 平成 20年 8月 1日

尾崎仁志（おざき ひとし）

（宇都宮陽北 RC）

住友生命保険相互会社栃木支社 基盤統括部長

入会年月日 平成 20年 8月 1日

ひとことば ロータリー宣言に沿って行動します。宜しくお願いします。

入江恵（いりえ けい）

（宇都宮 RC）

（株）エヌ・ティ・ティ・ドコモ栃木支店 支店長

入会年月日 平成 20年 8月 15日

相良栄（さがら さかえ）

（宇都宮陽東 RC）

相良運輸株式会社 代表取締役会長

入会年月日 平成 20年 8月 1日

ひとことば ロータリーの理念を修得し感謝の心を忘れず友情を深めていきたいと思います。

阿久津雄一（あくつ ゆういち）

（宇都宮陽東 RC）

株式会社阿久津基礎 取締役常務

入会年月日 平成 20年 8月 1日

ひとことば 新人ですが一生懸命頑張りたいと思いますので、皆さん宜しくお願い致します。

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

柿木孝一郎（かきのき こういちろう）

（小山 RC）

物故 平成 20年 6月 17日

■ロータリー歴

1966～ 1967	広報	委員長	1978～ 1979	会員増強	委員長
1967～ 1968	職業分類	委員長	1979～ 1980	副会長、クラブ奉仕	委員長
1969～ 1970	広報	委員長	1980～ 1981	会長	
1970～ 1971	副幹事、クラブ会報	委員長	1982～ 1983	会員選考	委員長
1971～ 1972	幹事		1986～ 1987	IT情報	委員長
1973～ 1974	IT情報	委員長	1990～ 1991	会員増強	委員長
1976～ 1977	職業奉仕	委員長	1993～ 1994	職業奉仕	委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴

ＰＨＦ 1998年、2006年　米山功労者 2005～ 2006年 930,000円

文庫通信 252号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

■「世界の現状と日本の針路」奥田碩　2007　15p（D.2760）

■「今、日本が直面する内外の課題」櫻井よしこ　2007　10p（D.2570）

■「世界の潮流と日本の進路」寺島実郎　2007　9p（D.2660）

■「国家の品格」藤原正彦　2007　4p（D.2650）

■「新政権でも改革と挑戦は続く～求められる幾百人のリーダーたち」
佐々木毅　2007　8p（D.2540）

■「地域から交流する日本～オホーツクへの期待」月尾嘉男　2007　3p（D.2500）

■「歴史から見た大阪～浪華の民活」松平定知　2007　4p（D.2660）

■「自然のすごさに学ぶ」石田秀輝　2007　20p（D.2800）

■「夢をもたらす氷の世界」本堂武夫　2007　8p（D.2510）

■「人と地球の命のために一　今、私たちにできること」
C.W.ニコル　2007　6p（D.2820）

〔上記申込先：ロータリー文庫(コピー／PDF)〕

【 ロータリー文庫 】
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456　FAX(03)3459-7506【 http://www.rotary-bunko.gr.jp】
開館 ＝ 午前10時～午後5時　／　休館 ＝ 土・日・祝祭日

【 国際ロータリー第2550地区　8月会員増強・出席報告 】

区分	クラブ名		出席率		会員数							
		例回数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	3	90.79	91.00	44	44	0	0	0	0	0	2
	黒磯	4	100.00	100.00	45	45	0	0	0	0	0	2
	西那須野	3	95.45	97.73	48	47	0	1	1	2	−1	0
	黒羽	4	97.06	96.33	17	17	0	0	0	0	0	1
	那須	3	77.56	77.56	18	24	3	0	6	0	6	2
	塩原	4	87.50	83.75	10	10	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	3	72.00	75.40	20	21	0	0	1	0	1	1
第2グループ	烏山	4	86.76	84.56	17	17	0	0	0	0	0	1
	氏家	3	75.00	80.36	32	32	0	0	0	0	0	0
	矢板	3	88.90	91.10	32	32	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	3	87.30	88.25	21	21	0	0	0	0	0	0
	高根沢	3	79.62	80.09	19	18	0	0	0	1	−1	0
第3グループA	宇都宮	3	73.90	74.55	94	96	3	0	3	1	2	0
	宇都宮西	3	88.67	86.82	61	63	0	0	2	0	2	0
	宇都宮北	3	76.07	75.86	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	85.30	86.50	38	38	0	0	0	0	0	4
	宇都宮陽北	4	88.20	90.15	35	36	2	1	2	1	1	5
第3グループB	宇都宮東	3	94.19	94.96	98	101	2	0	3	0	3	0
	宇都宮南	3	76.42	74.19	56	56	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	3	79.70	77.45	44	46	2	0	2	0	2	1
	宇都宮陽南	3	68.12	75.56	18	23	0	0	5	0	5	4
第4グループ	真岡	3	95.29	93.82	51	52	0	0	1	0	1	0
	益子	3	89.00	90.00	34	34	0	0	0	0	0	0
	真岡西	2	96.59	95.12	47	47	0	0	0	0	0	10
	しもつけ	3	93.50	92.77	31	31	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小山	4	90.20	88.30	47	46	0	0	0	1	−1	0
	小山南	4	100.00	100.00	18	18	0	0	0	0	0	2
	小山東	5	95.43	93.43	35	35	0	0	0	0	0	0
	小山北	3	94.40	86.79	25	26	0	0	1	0	1	0
	小山中央	4	73.00	72.50	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	3	84.73	81.99	48	48	0	0	0	0	0	0
	栃木西	3	82.85	82.80	42	42	0	0	0	0	0	0
	壬生	3	88.89	83.02	21	21	0	0	0	0	0	2
	栃木南	3	94.00	91.75	34	34	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	3	85.18	81.58	28	28	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	3	96.75	95.32	72	72	0	0	0	0	0	1
	今市	3	90.69	91.39	43	43	0	0	1	1	0	0
	鹿沼東	3	96.29	95.92	44	44	0	0	0	0	0	2
	粟野西方	4	98.00	95.42	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	70.37	72.99	27	28	0	0	1	0	1	2
	今市きぬ	4	94.17	94.97	28	30	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足利	4	76.82	76.33	46	49	1	0	3	0	3	0
	足利東	3	80.48	77.15	58	58	0	0	0	0	0	8
	足利西	4	76.20	76.50	14	14	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	3	100.00	100.00	32	32	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	3	87.03	89.28	53	55	2	0	2	0	2	0
	葛生	4	94.60	95.00	39	39	0	0	0	0	0	0
	田沼	3	92.54	94.03	34	35	0	0	1	0	1	0
	佐野東	3	82.61	82.61	23	23	0	0	0	0	0	0
	岩舟	3	90.60	90.80	25	25	0	0	0	0	0	1
	50RC		87.17	86.87	1861	1891	15	2	37	7	30	77